



上◇玄関ホール 広々し整然とした玄関ホールは、上質な質感素材でまとめられ発展的な気に満ち溢れています。

右◇ダイニングルーム 大きな楕円を描く天井と重厚なダイニングテーブルが印象的な空間での会食は、優雅なひとときと寛いだ歓談を誘います。

**都内随一の高級住宅地に建っていた旧邸宅は当初、まるで『要塞』のような外観とつくりを誇り住居と呼ぶには余りにも他を寄せつけない威容を呈していた。風水設計で新築した現在そこには多くの人たちや野鳥が集う温かく、柔らかな気と優しさが溢れ住まう人たちの幸せが光輝いている……。**

## 風水住宅を訪ねて 東京都・渋谷区松涛 T様邸

家も土地もすべてが家族、運命共同体なのだ理解した瞬間『土地は住まう人を選ぶ』という言葉の真の意味を知る。

**Q1 『風水住宅』との出会い、建てることになりきつかけとは何だったのでしょうか……。**

いまの場所に移り住む前は、東中野に15年間住んでいました。そこは地上3階、地下1階と家族5人で住むには十分過ぎるほどの大きさと広さがありましたが、住み始めて10年ほど経った頃から、家族の間には、もつと住み易い場所に移りたいという思いが募るようになっていました。

特に気に入らない場所や不便があったというわけではなかったのですが、家にいるよりもどこかに出かけていたいと感じるような、何となく落ち着かない居心地がする家でした。

ちょうど今の家を不動産屋さんから推薦されて、立地も良いし周辺の生活環境も申し分なかったので、東中野から移り住むことを決めた矢先に、主人の仕事上の知合いから松永先生を紹介されました。

松永先生に出会うまでは、『風水』という言葉は知ってはいましたが、まったく興味を抱いたこともなく、また、占いのことのようにも思っていました……。

当初ここには、以前の家主が建てたコンクリート建ての家が建っていました。私たちは、その住宅をリフォームして住もうと考えていたのですが、鑑定の結果、それでは住居として住むには良くないと言われて、考え直した経緯があります。

松永先生の鑑定では、「玄関が狭く」、「家の周りを要塞のような高い塀で囲まれている」、「天井も低く」、「人を寄せつけ難い印象がある」など、風水的に余り良くないとの結果がでて、思い切つてすべて一から造り直すことにしました。

**Q2 『風水住宅』に住まわれて、どのような変化や周りからの反応がありましたか……。**

「この家の地下に気を集めて、家の中をまんべんなくその気が巡り回るように設定しました」と完成直後に聞いたときは、そんなこともあるのかな、と当初は思っていました。地下にあるミーティング・ルームで、心理カウンセリングの仕事やセミナーをすることがあつて、お客様から「ここは気持ちがいいわ」とか「この場所にいると落ち着いて、とても良いアイデアがでますね」などの感想を聞くと、そのような効果を確かに感じます。

『脳を活性化する空間』と名付けて、私はこの場所が家の中で一番気に入っている場所なんです。

主人が家の設計からすべてを私に任せてくれたのですが、松永先生と相談して、なるべく物を目に見える場所に置かないような工夫を施しました。そのことが家の中にたくさん曲線や曲面を生み出し、家の中を柔らかい印象に仕上げることで、優しい表情を作っていると思っています。

主人は仕事柄、海外で美術品や家具などを買う機会も多く、「好きな物に囲まれている環境が、その人をより深い安らぎと寛ぎに誘う」との松永先生のお話から、主人や娘たちの部屋には、お気に入りの物が上手く収納されるように設計されています。

2階部分の家族だけの空間は、家族がそれぞれ休み、寛げる空間とするために、寝室は休み、眠ることに、リビングは楽しむことに、キッチンには、食べることを楽しむことに、目的をはっきりと定め、そのようなつくり方に仕上げました。これも『風水技術』だと知ったときは、正直、実に科学的で合理的なものだとびっくりしました。娘の友人が来ると、家の中で写真を撮ったりして楽しんでますし、主人のお客様が来ると、とても感心して家の中を散策されていきます。

私は、この家も家族の一員だと思っています。掃除をしているときもとても楽しくなりましたし、この家も土地も一緒に生きている生命体なのだ、とはっきりとその波長を感じることができるようになりました。



**Q2 『風水住宅』に実際に住まうまでの軌跡をお話しいただけますか……。**

設計図が仕上がってきて衝撃を受けただけでなく、実際に建築が始まって驚きの連続でした……。

まず、「廊下が無い」。これが『風水住宅』の大きな特徴のひとつだと知つて、とても合理的なつくりであり、考え方だと思いました。廊下がない分、とても開放的な空間に仕上がりが、見た目にも、見苦しさがまったく無い。

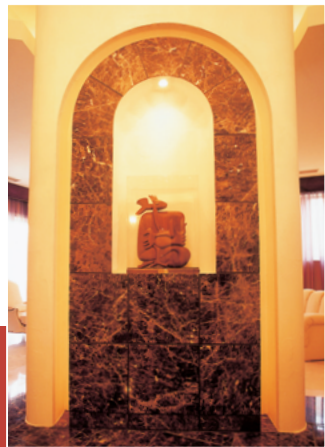
1階のお客様用リビングと2階の家族用リビングに分けられた空間やふたつの導線に分かれた玄関の設計を見たときは、初めはもったいないとも思いましたが、娘たちが家族用のリビングで寛ぎながら、楽しんでいる風景をみるにつけ、「もし、ひとつしかりリビングがなかったならば、きつと口うるさく彼女たちに使い方の指導をしていたであろう」自分の姿を考えると、「合理的な」という以上の利便性と効果を感じています。

外観の色にしても、「淡いピンク色は、メンテナンスが大変ではないかしら」と思っていました。実際に住んでみて、家に帰ってくることで自体がとても楽しみな行為になっていきます。以前の家は近づくにつれ、心が重くなっていたのですが、今は帰ってくるたびにワクワクしながら家を見上げて、自分に気がつきません。

実は、キッチン横のスペースにセキュリティ用のカメラモニターを収納している場所があるのですが、時々、そのカメラに映る通りがかりの人たちが我が家を見て、何か楽しげにおしゃべりをしていたり、写真を撮っている景色を見て、「周りの人たちをも幸せな気分にする家を建てましょう」と言われた松永先生の言葉を思い出します。

松永先生が初めてこの土地を鑑定に来て頂いたときに、「この土地はとてもエネルギーが強い場所です」とお話しされ、家族全員の誕生日と性格を鑑定された後、「全員の潜在能力が高まるような家を造りましょう」と言われたことをよく覚えています。

確かに以前とは違って、この家に移って来てからは、よく野鳥が飛んで来て庭に降り立ち、巣づくりをするようになりました。



右◇ファミリールーム お嬢様方がお気に入りのファミリールームは高い天井が開放感を演出し、かつ彩り豊かな色彩の効果により暖かみのある優しい空間に仕上がっています。

左◇リビング内 近代建築の巨匠ル・コルビュジェの彫刻がさり気なく飾られた格調高いホールの佇まいは、主の高い文化性を象徴する空間に仕上がりました。

風水インタビュー

FENG-SHUI Interview